市報とおかまち　平成19年（2007）February　第45号
TOKAMACHI
2.10

だんだん

心臓やぶり

吉田クロスカントリー競技場で行われた新潟県スキー選手権大会男子50㎞フリー競技（1月22日㈪）。一斉スタートのあとの最初の上り坂で団子状態の選手が縦に延びます。アップダウンはこれからが本番、日本一キツイ?といわれる名（難）コースです。

主な内容

●［特集］
地域資産をどう生かす …… 2-4
●家具の転倒を防ごう …… 5
●全国大会・国際大会に70選手が出場 …… 6
●第85回全日本スキー選手権大会ほか …… 7
●地域の風～支所からのたより～ …… 8-9
●ときめきネットワークほか …… 10-11
●まちの話題　TOPICS …… 12-13
●土砂災害警戒区域の指定を行います …… 14
●地域協議会委員を募集します …… 15
●お知らせ・ガイド …… 16-17
●ジュニア芸術祭 ―川治小学校― …… 18

愛称「だんだん」は、方言のあいさつ「だんだんどうも」、「河岸段丘・棚田」、「ステップアップ」などを表しています。

特集 地域資産をどう生かす

～TSUMARIフォーラム　公開講座～

十日町地域では、大地の芸術祭をはじめさまざまな事業が展開され、新しい価値・資産が生まれています。これらを有効に生かそうと、１月20日㈯、クロス10で140人が参加して「TSUMARIフォーラム公開講座　地域資産をどのように活性化につなげていくか」（TSUMARIフォーラム（仮称）・十日町地域振興局主催）が開催されました。講演と意見発表の主な内容を紹介します。

講演 「いま元気印のまちとは」

～住民自治とアートからの活性化～

江戸川大学社会学部教授　**鈴木輝隆氏**

自腹を切ってこそ地域の未来が開ける

全国各地でさまざまなアイデアを生かしたまちづくりが進められています。でも、次の時代のまちづくりを考える人材を地域の中で育てていないところは長続きしません。

「写真のまち」をキーワードに「写真甲子園」などユニークな催しをとおしてまちづくりを進める北海道東川町は人口約７、０００人。町は年間７、０００万円をこのために支出し、民間も２、０００万円を拠出しています。結果として、「写真写りのいいまち」をつくろうと住民一人ひとりが立ち上がり、自然や環境を大切にする個人経営者などの誘致に成功して過疎から脱却しています。

富山市岩瀬地区は、古いものに命を吹き込んで成功しています。まちなかにある空き家を再利用して酒蔵、そば屋、陶芸工房、ガラス工芸館などを生み出し、地域資産を高めています。それも、単に町並みを整えるだけでなく、そこで作られる工芸品などを東京で付加価値を付けて売ったり、さまざまな分野の作家を育てたりするなど、次の世代につながる活動をしています。

ほかにも、アートのまちづくりを進める岩手県花巻市東和町の「アート@つちざわ」や「理想の田舎」を目指す北海道滝川市のＮＰＯアートチャレンジ滝川、自分の家を手入れすることから美しいまちをつくろうという北海道恵庭市など、地域の資源を見つけ出し、新たに資産価値を高めて成功しているところがたくさんあります。

どの地域にも共通しているのは、住民自らが「自腹を切って地域の未来に投資している」ということです。こうしてつくられた資産は本物です。本物の資産があるまちには人が帰ってきますが、そうでないところには帰ってきません。

「あなたのまちにはあなたの欲しいものが何でもある。でも、それは種と苗だけ」という言葉があります。育てるのはあなた自身です。

「小白倉いけばな美術館」

意見発表 「地域づくりと芸術祭を考える」

関口正洋氏	「まつだい農舞台」マネージャー
尾池紀一氏	農家民宿「サンベリー」経営
奥平百合氏	居酒屋「ちゃもっこ」経営
宮澤八州男氏	なぐも原「㈲結い」代表
押木敦子氏	川西地域里創プラン推進委員
村山達三氏	「㈲東部タクシー」代表取締役
伽耶野寧氏	「去来通信」編集主幹
村山政文氏	「㈱エフエムとおかまち」代表取締役

50日間だけが芸術祭じゃない

関口　３年前から松代に住み、大地の芸術祭や地域の活動にかかわっています。

会期の50日間だけが大地の芸術祭ではありません。アートを現代の道祖神のように考えればいろんな道が見えてきます。地域と地域外とのつながりを深めながらこの地で生きる人を育てる活動が大事だと思います。そのために、里山アートガイド、スローフードコンテスト、棚田バンク、生産者と都市をつなぐ直売市、くらしの知恵のデジタルアーカイブス化などに取り組んでいます。これからは、これらのことをもっとＰＲするとともに、地域外村民制度のようなものを作っていきたいと思っています。

芸術作品を評価する仕組みを

尾池　グリーンツーリズムを進めるために、平成17年３月、雪国特有の高床式住宅の農家民宿全国第１号として津南町で開業しました。昨年は１００人を超える人たちから利用してもらいました。いろんな人が来ることによって、自分も刺激を受けて活性化します。

大地の芸術祭も同じで、作家や設計者と地元の人たちがいっしょに木を切ったり泥をこねたりする過程で感動が生まれています。ただ、どの作品もそうかというとそうではない。これからは、芸術作品を評価する仕組みも考えた方がいいのではないでしょうか。

芸術祭だけでなく、いろんな分野でお年寄りや女性が生きやすい、希望のある地域にしなければならないと思います。

若者・女性が活躍できる環境を

奥平　芸術祭がきっかけで横浜からこちらに移り住んで６年になります。いろいろな活動にかかわっているうちに、20代～30代が中心になって実施しているイベントがとても少ないと感じました。若者が自ら楽しめるまちをつくろうと、多国籍の交流イベントや震災復興キャンドル、第２回の芸術祭で話題となった光る風船「銀河」を再現した「10・23想う灯」などを仲間とともに開催してきました。いろいろ輪が広がって、「潜在的人材は豊か」だと感じています。

子どもや孫の世代に、「なんにもしてこなかった」とは言いたくありません。この地域は、男性より女性の方が動きが早いと思います。芸術祭などをとおして視野を広げながら、もっと女性が活躍できる環境を作っていきたいですね。

継続する活動こそ活性化事業

宮澤　十日町総合高校の旧農業実習地を活用して農業をとおした都市との交流事業を行っています。菜の花畑やそばの花など、美しい景観を作りながら農業体験事業を実施し、昨年は１万人の交流人口がありました。最近では、サルナシ（またび科の一

種）を栽培し、ジャムやワインを製造・販売しています。サルナシは「去ること無し」につながり、「結婚式の乾杯酒に最適」と、各方面に働きかけをしています。（笑）

大地の芸術祭のように50日間とか3年に1回の開催とかでは地域経済の活性化につながりません。日々継続してこそ活性化。私たちは大地を相手の活動をずっと続けています。これこそ大地の芸術だと自負しています。

「祭りのあと」を大事に

押木 第1回から、地域と芸術祭を結ぶ役として活動しています。第2回のとき、ホワイトプロジェクトという白い小さな布をつなげて大空に広げる作品がありました。地域のお年寄りの力を借りて予定の何割も多い12、000枚以上が集まりました。こへび隊の皆さんがお年寄りの力を引き出してくれたからです。

芸術祭の意義はいろいろあると思いますが、人と人がつながって地域の情報を共有すること、せっかくある催しに自分から参加して私たち自身が元気になっていくことが一番。芸術祭が終わった後の作品活用にもかかわっています。「祭りのあと」を大事にしながら、これからもどっぷりとつかっていこうと思います。

もうけることに 知恵を出そう

村山達三 私も第1回からどっぷりとつかっています。ただし、芸術のことはさっぱり分かりません。ただ、「どうやってもうけてやろうか」だけを考えています。お客さんを芸術祭の作品だけでなく、棚田や温泉などにも案内して、地域の魅力をもっと知ってもらおうと活動しています。せっかく何十万人の人が来るんだから、これを活用しようとしない方がおかしいです。

ほくほく線を通過する人たちは1日約1万人。この人たちをただ通過させてしまうのはもったいないです。ここが十日町、ここが松代ということをもっと知ってもらおうと、特急「はくたか」に乗り込んで松之山温泉のペットボトルを配ったりしてPRしています。ちっとでも多くの人からここにお金を落としてもらう仕組みを作りましょう。

市民が 裸で飛び込む祭りに

伽耶野 私も東京からIターンしました。「あるべき食と農」を考えるために「去来通信」という情報紙を発行し、地域と都市の人の交流を進めるために「帰去来の集い」を年に数回開いています。今主宰している陶芸塾も含めて、時代の変化を感じ取る「田園の学び舎」を作りたいと思っています。

大地の芸術祭は、一部の熱狂的な地域もありますが、十日町市全体・妻有全体に浸透しているとは思えません。それは、「市民が裸で飛び込めない」何かがあるからだと思います。単なる集客装置で終わってほしくありません。その課題を乗り越えるためにも、続けていってほしいと思います。小白倉のいけばな美術館を鑑賞した帰り、朽ち果てた耕うん機が野の花にうずもれている姿を見て感動しました。こうしたこともヒントになるかもしれません。

サテライト局設置を目指す

村山政文 中越大震災のとき、臨時FM放送局が開設されたことで、コミュニティーFM放送の重要性を痛感しました。

先行する放送局からいろいろ教えてもらいながら準備を進め、昨年2月、地域の皆さんの出資により「エフエムとおかまち」を開局することができました。全国で188番目、県内10番目の開局で、十日町の十にふさわしいものです。（笑）

大地の芸術祭は告知放送や作家インタビュー、開会式・閉会式の番組作りをさせてもらいました。もうけがあったかどうかは、難しいところです。（笑）

目下の一番の悩みは市内全域をカバーできていないところ。「おれのところは聴こえないぞ！」という声になんとか応えようと努力しているところです。いま、サテライト局設置に震災復興基金を活用できないか県に働きかけています。皆さんも、知事にお願いのはがきを出してください。（笑）

家具の転倒を防ごう

～NPOセーフティネットぼうさいが活動～

1月28日㈰、NPOセーフティネットぼうさい（尾身誠司代表／会員23人）による家具の転倒防止具取り付けボランティア活動が、鉢集落で行われました。65歳以上の高齢者世帯など対象約20世帯のうち、10世帯で冷蔵庫、食器棚、タンスなどの家具が、防止具の実費負担だけで取り付けられました。

危機意識を もう一度高める

この日、7人の会員により転倒防止具が取り付けられたのは冷蔵庫10、食器棚14、タンス6などの計40点。材料費だけなので1世帯当たりの負担は1、000円から1、500円程度で済み、「いつか自分でやろうと思っていたども、できなかった」という人たちに喜ばれていました。ただ、こうした活動も、最近では回覧板などで希望者の募集をしても、申し込みがほとんどないといいます。「固定方法がわからない」「面倒くさい」という理由から、家具の転倒防止対策をしている家庭は一割に満たないという調査数値もあり、「全体に危機意識が低くなっている」と心配する声があります。

NPOセーフティネットぼうさいが設立されたのは中越大震災前の平成16年5月。その理由を代表理事の尾身誠司さん（鉢・64歳）は次のように語ります。

「39年間消防の仕事に従事していて、地域の地震に対する危機意識の低さに気づいていました。特に十日町断層の存在を知ってからは『何とかしなければ』と思い、退職を機にこの組織を立ち上げました。鉢集落は、平成10年に自主防災組織を設立していました。そのため、あの地震のときも、安否確認、自主避難所の設置と運営、危険か所の応急措置など、初期から機能しました」。

地震後、尾身さんは復興活動に従事するとともに、リーダー研修などを重ねて自主防災組織のレベルアップに努めています。これからは、救出訓練や消火訓練にも取り組みたいと意欲的です。

「組織としての活動とは別に、市民の皆さんからは、まず自分の身を守ることを考えてほしいと思います。そのためには、家具の転倒防止から始めるのが一番です」。

この日、食器棚と冷蔵庫を固定してもらった尾身政信さん（84歳）・テイさん（84歳）夫妻は、「地震のとき食事中で、冷蔵庫が倒れかかってきておっかない目をしました。この話があったときは、まっ先にお願いしました（テイさん）。うれしいの。これで安心だて（政信さん）」と目を細めていました。

「気持ちが楽になった」という尾身政信さん（左）とテイさん

「ある程度希望数がまとまったら、日程調整をしていつでも対応できるようにしています。気軽に声をかけてください」と尾身さんは呼びかけています。

■問合せ先
NPOセーフティネットぼうさい
☎752―7353

全国大会・国際大会に70選手が出場

1月25日㈭、十日町保健センターで平成18年度スキー各種全国大会・陸上全国大会十日町市出場選手報告及び激励壮行会が開催されました。会場には中・高生を中心に34人の選手が出席し、所属校の先生による選手紹介の後、各校代表者による全国大会に向けての決意表明が行われました。松代高校の五十嵐太博選手は「支えてくださった人たちに感謝の気持ちをもって、精一杯がんばっていきたい」と語りました。出場大会と選手名・所属は次のとおりです（敬称略）。

第44回全国中学校スキー大会
（2月6日㈫～9日㈮　長野県野沢温泉村）

▼クロスカントリースキー
児玉翔平、春日菖吾、野上茉弥、齋木麻利奈（以上吉田）、小林洋介、長谷川悠、水落琹（以上下条）、宮沢大志（水沢）

第56回全国高等学校スキー大会
（2月2日㈮～6日㈫富山県南砺市）

▼クロスカントリースキー
井川智之、太田和成、徳永康介、金澤郁馬、恩田悠、小林祐佳、桑原麻里、瀧澤三咲子、保坂美紀（以上十日町高）、中島有基、中沢建太、高橋渉、緒方恭介、田村真理、恩田紫央里、中島由貴、宮尾彩子（以上十日町総合高）、五十嵐太博、春日孝平、仙田健一、市川亮、柳凌（以上松代高）、村山草太、本山育未（以上小出高　松之山中出）

▼アルペンスキー
藤ノ木香澄（十日町総合高）、瀧澤和史、高橋範行（以上安塚高校松之山分校）

第62回国民体育大会
冬季大会スキー競技会
（2月10日㈯～13日㈫秋田県鹿角市）

▼クロスカントリースキー
中島有基、宮尾彩子（以上十日町総合高）、村山草太、本山育未（以上小出高　松之山中出）、桑原慎太郎（日本大学　水沢中出）、井川純一（日本大学　下条中出）、関谷有希（日本大学　松代中出）、丸山智恵（日本大学吉田中出）、小林美貴（日本大学　下条中出）、佐藤昭則（十日町消防署）

▼アルペンスキー
水落亮太（ガーラ湯沢スキースクール　中条中出）

第85回全日本スキー選手権
（2月15日㈭～19日㈪十日町市）

▼クロスカントリースキー
太平翔、金澤郁馬、恩田悠、小林祐佳、桑原麻里、瀧澤三咲子、保坂美紀（以上十日町高）、中島有基、高橋渉、緒方恭介、田村真理、恩田紫央里、中島由貴、宮尾彩子（以上十日町総合高）、五十嵐太博（松代高）、村山草太、本山育未（小出高　松之山中出）

2007日本ジュニア室内陸上競技・大阪大会
（2月11日㈰大阪府大阪市）

▼60mハードル
村山未有（十日町高）

▼走り高跳び
小島亮（十日町高）

ユニバーシアード冬季大会
（1月17日㈬～27日㈯　イタリア　トリノ）

▼クロスカントリースキー
井川純一（日大　下条中出）
関谷有希（日大　松代中出）

ノルディック世界ジュニア選手権
（3月上旬　イタリア　タルビシオ）

▼クロスカントリースキー
丸山智恵（日本大学　吉田中出）、小林美貴（日本大学　下条中出）

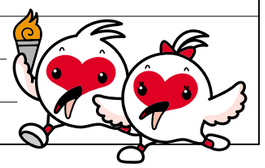
↖

応援に来てください!!

天皇杯第85回全日本スキー選手権大会

今年から３年連続で行われるクロスカントリースキー全国大会の皮切りとなる天皇杯第85回全日本スキー選手権大会が２月15日㈭～19日㈪に吉田クロスカントリー競技場で開催されます。ぜひ地元選手の活躍を応援しに、また国内トップクラスの選手の走りを体感しに会場へお越しください。

期間：２月15日㈭～19日㈪　会場：十日町市吉田クロスカントリー競技場	
２月15日㈭	15：30～　選手歓迎セレモニー　16：00～　開会式（会場：十日町市立吉田中学校体育館）
16日㈮	10：00～　女子10kmフリー　11：00～　男子15kmフリー
17日㈯	9：30～　女子５km×３リレー　10：30～　男子10km×４リレー
18日㈰	競　技　な　し
19日㈪	10：00～　男子50kmクラシカル　10：10～　女子30kmクラシカル



問合せ　トキめき新潟国体冬季大会等十日町市実行委員会
☎752－3103　URL http://www.tokamachi-sports.net/2009ski/

市内各地域でスキー大会が開催されました

十日町で平成18年度新潟県スキー選手権開催！

１月19日㈮～22日㈪に吉田クロスカントリー競技場で平成18年度新潟県スキー選手権大会（クロスカントリー競技）が開催され、熱戦が繰り広げられました。大会では十日町市出身選手が大活躍。２月15日㈭から同会場で開催される天皇杯第85回全日本スキー選手権や第62回冬季国体での活躍も期待されます。

新潟県スキー選手権　スタート直後の攻防

各地域のスキー大会では雪不足で中止となった大会も…

２月４日㈰、当間スキー場で第２回市民スキー選手権大会アルペン競技が開催され、参加者は旗門の並ぶゲレンデを滑走しました。また、なかさと清津スキー場でも中里スキー大会が開催され、アルペンやクロスカントリー競技のほか、スノーボードでもタイムを競い合いました。

暖冬の影響で、１月28日㈰に予定されていた松代の上石杯が中止になったほか、同日の川西地域小学校親善スキー大会や２月４日㈰の松之山スキー競技会も、規模や内容を変更して開催されました。

湯米心まつのやま

松之山支所
596-3131

楽しく愉快に勉強会
「いこいの場」開催

松之山地区老人クラブ連合会では、冬期間の会員の仲間づくりなどを目的に、「いこいの場」事業を開催しています。1月23日㈫には、松之山集会所で松之山寿楽会の「いこいの場」が開催され、「安吾の散歩道・祭神石仏民話」と題して市社会教育指導員の村山悦夫さんから講話がありました。

坂口安吾の勉強会を開催

講話では、坂口安吾について紹介され、昨年『生誕100年』だったことや、旧新津市の坂口家から安吾の叔母と姉が松之山の村山家へ二代続けて嫁いだこと、それが縁で松之山に頻繁に遊びに来ていたことなど松之山での逸話を交えての話がありました。また、安吾の作品「黒谷村」や「逃げたい心」には松之山の様子や人物が多く出てくることも紹介され、参加者はメモをとりながら熱心に聞き入っていました。

また、民話と伝説の違いや、同じ民話でも地域によって少しずつ違うことなどを紹介。「鳥のみ爺さん」や「へっこき姉さ」などの昔話がユーモアたっぷりに語られると会場内には大きな笑い声が上がっていました。参加者は、「楽しい勉強会でした。今後もこのような話を聞く会を開いてほしいです」と話していました。

力作ぞろいの書初め展覧会

1月20日㈯から22日㈪までの3日間、松之山自然休養村センターで「松之山書初め展覧会」（松之山公民館主催）が開催されました。今年の展覧会には、小・中学生や高校生、一般の作品約200点が展示され、期間中多くの市民が訪れました。会場を訪れた女性は、「力強い作品が多いですね。子供たちの筆づかいがとても上手です」と感想を述べていました。また、小学生も多く訪れ、友だちの作品をじっくりと鑑賞していました。松之山公民館の田辺久子副館長は、「松之山は以前から書道が盛んなところです。来年はもっと多くの作品を期待したいですね」と話していました。

会場に張り出された力作

だんごの木『きれいだね！』

1月11日㈭、松之山保育園で小正月行事の「だんごの木づくり」が行われました。毎年、小正月に五穀豊穣と健康、交通安全を祈願して実施されていて、この日も団子づくりや木の枝への飾り付けを楽しみました。まずは、各部屋に分かれて団子作りに挑戦。日ごろ、粘土遊びで鍛えている園児には団子作りはお手のもの。「大きくなれますように」「勉強ができますように」など願い事を唱えながら、赤や白、緑など5色のもちを上手に丸めていました。作った団子をゆでた後、まだやわらかい団子と悪戦苦闘しながら園児たちは一つずつ枝に飾り付け。木はたちまち5色の花が咲いたようになりました。「上手にきれいにできたね！」とうれしそうな歓声が上がっていました。

みんなでだんごの木を作りました

かわにし新聞

川西支所
768-3111

川西地域小学校親善スキー大会

1月28日㈰、吉田クロスカントリー競技場で、第22回川西地域小学校親善スキー大会が開かれました。この大会は、4年生以上を対象としたクロスカントリー競技で、学年ごとの個人走と、リレーが行われました。当日は天候にも恵まれ、児童たちを応援する声援が、競技場のあちこちで飛び交っていました。

白熱したリレー競技

施設の愛称を募集します

現在、市では川西高齢者コミュニティハウスを旧南原保育園跡地に建築しています。この施設は、一人で生活することが不安な高齢者世帯に対して、安心して生活できる居住環境を提供する高齢者アパートです。皆様から親しまれる施設となるように愛称を募集します。

採用数は1点、採用された人には粗品を差し上げます。

▼**期間**　2月25日㈰まで
▼**応募方法**　ハガキ・封書・FAX・Eメール
※応募点数は一人3点まで。
▼**記載事項**　愛称とそれに込められた思い、住所・氏名・年齢・電話番号

応募・問合せ
〒948－0192
十日町市川西支所健康福祉課
《電　話》768－4957
《FAX》768－3828
《Eメール》ks-kenko@city.tokamachi.niigata.jp

第21回かわにし雪まつり情報

かわにし雪まつりでは、4つの会場で趣向を凝らしたイベントを行います。恒例のテント屋台も〝雪まつり風?〟に仕上げます。どうぞお楽しみに！

■千手ほんやら村（千手地区）
日時：3月3日㈯
　午後4時30分～8時
会場：千手小学校グラウンド
内容：雪上レクリエーション、もちつき、福まき、スノーキャンドルなど

■上野ほんやら村（上野地区）
日時：3月3日㈯
　午後2時～7時30分
会場：上野小学校グラウンド
内容：雪上わいさこき、雪のごっつお村、雪の火まつりなど

■橘ほんやら村（橘地区）
日時：3月3日㈯午後1時～4日㈰午後2時
会場：
三箇地区：取安神社境内
木落地区：木落ミニライスセンター周辺
野口地区：野口集落センター脇広場
仁田地区：おかめ様前広場
塩辛地区：塩辛集落センター周辺
内容：子供レクリエーション、すべり台、もちつきなど
※各会場によって開催時間と内容が異なります。詳細は後日お知らせします。

■仙田ほんやら村（仙田地区）
日時：3月3日㈯午後5時～8時
会場：
仙田地区：仙田体験交流館周辺
白倉地区：十日町農協白倉店付近
内容：ピースtoピースほか

■雪まつり作業室を設置しました（ボランティアスタッフを募集します）
皆さんからご協力いただきました「ピースtoピース」のパーツの数は目標の2、300枚を達成しました。大変ありがとうございました。これからパーツの仕上げ作業を行いますので、お手伝いいただける人はお気軽に作業室にお越しください。
場所：川西支所旧庁舎2階
時間：午前9時～午後4時
作業室開放期間：2月14日㈬～2月23日㈮まで

ときめきネットワーク ⑳

とびきりの笑顔を届けたい!!

人とかかわる仕事がしたい、人のためになる仕事がしたいと考えていたので、高校生のときから介護の仕事に進もうと決めていました。2年間、長岡の専門学校に通い介護福祉士の資格を取りました。大好きな十日町で仕事がしたかったから、あかね園へ就職が決まってうれしかったです。

職場は雰囲気がよくて和やかで楽しいです。毎日起こることが変化していて新鮮だし、張合いがあります。入浴、食事、排せつの介助やコミュニケーションをとること、その人にあったケアプランを立てることが私の仕事。明日になればまた私のことを待っている人がいる、そう思うと少しくらいの悩みなんて吹っ飛んじゃいます。2年目になって気持ちに余裕がでてきたので、これからはもっと自分らしさを出していけたらいいなぁと思いますね。再開した習字と小学生のときから続けている陸上が私の活力源かな。

大海　茜 さん
1984年生
あかね園勤務

先月の小島智章さんからバトンタッチ。

光ケーブルネットワークで地域が変わる

VOL.17

◆問合せ◆
総合政策課
情報政策係
☎757-3111
（内線233）

■企画提案会の再開に向けて始動

市では、昨年12月に開催を予定していた「高速情報通信網整備事業に関する企画提案会」を取りやめました（市報12月25日号18ページ参照）。その後、今後の地域情報化推進のためにどのような手法で企画提案会を再開するか検討した結果、次の基本方針に基づき、企画提案会を再開することにしました。

◇再開に当たっての基本方針

市の情報化の課題としては、①テレビ難視聴エリアの解消②地上デジタル放送受信への対応③高速インターネット環境の整備④携帯電話不感地域の解消⑤映像による地域情報の提供⑥防災やコミュニティ利用のための告知放送の導入⑦行政サービスのためのネットワーク網の整備⑧既に整備された開放用心線（有線テレビジョン放送法に基づくケーブルテレビ事業を行うための光ケーブル）の活用などがあります。

昨年取りやめとした企画提案会は、これらの課題をケーブルテレビという手法で解決する提案を受けるというものでした。しかし、再開する企画提案会では、ケーブルテレビという手法だけにこだわらず、これら情報化の課題に対応するため、どのような手法が考えられるかを事業者から自由な視点・観点で企画提案していただくこととしました。

市では、この基本方針により企画提案会を再開することで、より多くの事業者の参加が期待され、民間活力の導入につながるものと考えています。

◇評価委員会検討部会を設置

企画提案会再開に当たっての基本方針は、1月12日㈮に開催された市議会全員協議会で説明を行い、30日㈫に開催された第10回情報化推進会議でも協議・了承されました。

現在、再開される企画提案会の評価などを行うための組織（評価委員会）の作業内容や、構成委員・規模などの試案をまとめるため、情報化推進会議の専門部会として「評価委員会検討部会」を設置して協議を行っています。

※次回は、評価委員会検討部会の作業内容や中間検討結果などについてお知らせします。

あいどるキャッチ

20

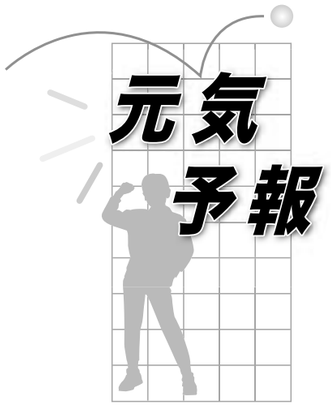
石沢　希奈ちゃん
いしざわ　きなちゃん
平成16年5月19日生まれ
稲荷町3南

おばあちゃんのお家に行くのが、きーちゃんの日課です。六箇保育園のレスリング教室にも通っています。お兄ちゃんとけんかしても負けていない、強くてとってもお茶目なきーちゃんです。

小林　新大ちゃん
こばやし　あらたちゃん
平成15年10月10日生まれ
上鰕池

ブルドーザーやユンボなど大きな乗り物が大好きで、マイブルドーザーの運転もじょうずなあらたちゃん。得意な歌は、おじいちゃんから教えてもらった「松之山小唄」と「水戸黄門」です。

元気予報



問合せ　健康支援課成人保健係　TEL757-3111（内線124）

生活習慣病予防に年1回は健診を！

がん・脳卒中・心疾患など生活習慣病の多くは、初期にはほとんど自覚症状がありません。健康診断を受けることが早期発見、早期治療につながります。

また、「異常なし」といわれても油断は禁物です。健康診断の結果を生かし、生活習慣病を予防するためにも、年1回は受診しましょう。

新年度の各種検診申込書を配布します

市報2月25日号といっしょに、各世帯に各種検診申込書を配布します。これは、市で行う各種検診の申込みを受け付けるとともに、皆さんの健康診断の受診状況を把握するためのものです。受診希望の有無にかかわらず、3月7日㈬までに町内の嘱託員に提出してください。各種検診の詳しい内容や申込書の記入方法は、申込書に同封する説明書をご覧ください。

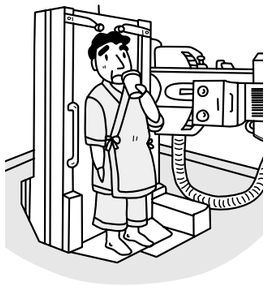
胃がん検診を申込むときの注意

市の胃がん検診は、バリウムを飲んで行うレントゲン撮影です。バリウムは、飲み込む力が弱っていると肺に入ってしまったり、便通に問題があると排泄されなくなったりすることがあります。

次に該当する人は市の検診ではなく、医療機関での検査をおすすめします。

①バリウムを誤嚥（気管や肺に入ってしまうこと）したことがある人
②食べ物や水などを飲み込むときにむせやすい人（バリウムを誤嚥する可能性があります）
③バリウムを飲んで気分が悪くなったことや、発疹などが出たことがある人
④バリウムを飲んでひどい便秘になったことがある人
⑤普段から便秘の人
⑥腸閉塞をおこしたことがある人

また、胃の調子がおもわしくない人は、市の検診を待たずに早めに医療機関で受診してください。



各種検診の申込みが始まります

各世帯に各種検診申込書を配布します。これは、市で行う各種検診の申込みを受け付けるとともに、皆さんの健康診断の受診状況を把握するためのものです。受診希望の有無にかかわらず、3月7日㈬までに町内の嘱託員に提出してください。各種検診の詳しい内容や申込書の記入方法は、申込書に同封する説明書をご覧ください。

国宝を災害から守る　十日町市博物館防災訓練

１月26日㈮、市博物館で防災訓練が行われました。この日は「文化財防火デー」にあたり、昭和24年法隆寺金堂が失火で全焼した際に、国宝の十二面壁画が被害にあったことがきっかけで昭和30年に制定され、以来全国各地で文化財防火運動を展開しています。

訓練では、博物館１階に展示している復元民家から出火したと想定。来館者の避難誘導や国宝である火焔型土器の搬出訓練、屋外では消防署員による放水や、はしご車による屋上からの救出訓練が行われました。また、模擬消火訓練では、職員や博物館友の会の会員らが真剣な表情で取り組んでいました。

鬼が交通事故防止を訴える

１月30日㈫、千手温泉・千年の湯に２人の鬼が現れました。これは十日町市・安全協会・警察署が交通安全を呼びかけるために行った「鬼の交通事故退治！」作戦によるもので、会場では交通事故から身を守るため、反射材付きのたすきやシールが配られました。また、２人の鬼は左右の安全確認や信号のある横断歩道を利用するなどの交通安全の注意を呼びかけました。十日町警察署管内では１月に２件の死亡事故が発生し、統計のある昭和42年以来最悪の数値となっています。

雪まつりオリジナルフレーム切手ができました

十日町郵便局が、オリジナルフレーム切手「十日町雪まつり」の発行を記念して、２月１日㈭に十日町市へ同フレーム切手を贈呈しました。フレーム切手とは、切手部分を額縁に見立てタブ部分に写真などを収め、オリジナル切手を作成するものです。今回の十日町郵便局発行のものは、過去５年の雪上カーニバルの写真をデザインして作成。フレーム切手としては信越支社管内では初めての販売となります。市内の郵便局（簡易郵便局を除く）で、1シート（80円切手10枚）を1,200円で販売しているほか、雪まつりひろばなどに開設する郵便局の臨時出張所でも販売する予定です。

県広報コンクール２連覇

市報とおかまち「だんだん」は、次のとおり平成18年度新潟県広報コンクール広報紙の部で、昨年に続き県知事賞を受賞することとなりました。市民の皆さんをはじめ多くの人たちのご協力のたまものです。これからもご指導・ご協力・ご愛読よろしくお願いします。

●広報紙の部：最優秀知事賞（平成18年９月25日号）

●広報写真　１枚写真の部：入選１（平成18年４月10日号表紙）組み写真の部：入選３（平成18年１月25日号Ｐ２～３）

大地の芸術祭がJTB交流文化賞“優秀賞”受賞!!

人や文化との交流による地域活性化の事例を表彰する第２回ＪＴＢ文化賞において「越後妻有　アートをみちしるべに里山を体験する旅」（大地の芸術祭実行委員会）が、応募した39作品の中から見事優秀賞に輝きました。これは、地域の人たちと来訪したアーティストやサポーターとの交流が原動力となり地域の活性化につながったことや、10年間にわたる協働の努力と里山にアートを持ち込んだ文化性が評価されたものです。田口直人市長は、「大地の芸術祭は、現代アートによる地域活性化という全く新しい取り組みであり、多くの人たちの協働と支援に支えられ開催されてきた。かかわってきた多くの関係者たちにとって大変大きな励みとなります」と受賞の喜びを話しました。

まちの話題
TOWN
TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係（☎757―3111内線213）へ、お気軽にお寄せください。

高校生が熱演！妻有演劇まつり

毎年恒例となった「第５回妻有演劇まつり」（十日町市演劇協会主催）が、１月27日㈯・28日㈰の２日間、市民会館で開催されました。今回の参加団体・演目は、27日が六日町高校演劇部「Ａngel halo」、小出高校演劇部「犀～思い出のコウイチロウ君へ～」、十日町高校演劇部「Tales of mine」（写真）、翌28日には、小千谷西高校演劇部「キオクの欠片」ほか２本が上演されました。残念ながら、予定されていた劇団御の字の公演は出演者の都合により中止となりましたが、会場には２日間合わせて約250人が訪れ、高校生の力の入った熱演に大きな拍手が送られていました。

絵本をありがとう！

１月23日㈫、高山保育園で、㈳十日町法人会（村山栄治会長）による園児用絵本の寄贈式が行われました。地域社会貢献事業としてこれまでも贈本事業は行われてきましたが、保育園への寄贈は今回が初めて。絵本に親しみ心の優しい子どもになってほしいという願いから計画されました。今回贈呈された絵本２６１冊は、高山、川治、鐙島、上野保育園とつくし園に置かれますが、来年度以降も、市内や津南町の保育園に順次寄贈される予定です。

土砂災害警戒区域の指定を行います

県では土砂災害防止法に基づき警戒区域の指定を行います。区域の指定にあたり一定の行為の制限を伴う土砂災害特別警戒区域については、対象となる区域の皆さんに調査結果を説明します。ご理解とご協力をお願いします。

土砂災害防止法とは

土砂災害（がけ崩れ、土石流、地滑り）から住民の生命を守るために、土砂災害が発生するおそれがある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備や一定の行為の制限を行うもので、平成13年４月に施行されました。

目的：土砂災害から住民の生命・身体を保護する
意義：○行政の『知らせる努力』と住民の『知る努力』を促進
○被害を受ける区域に着目した法律
○ソフト対策を推進するための法律

土砂災害防止法の主な内容

①危険か所の地形や地質などの基礎調査を実施（県）
②市町村長の意見を聞いた上で土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域を指定（県知事）
③警戒避難体制の整備などを行い住民に周知（市町村長）
④土砂災害特別警戒区域における特定の開発行為に対する許可、建築物の構造規制などの実施（県知事）

土砂災害防止法で区域に指定されると

【土砂災害警戒区域】

土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備等が図られます。

【土砂災害特別警戒区域】

・新築及び大規模な増改築を行う場合、想定される衝撃に対し、建築物が安全であるかどうか建築確認を受ける必要があります。
※既存の建物のままであれば対象となりません。
・住宅宅地分譲、老人ホームや病院など災害弱者関連施設の建築を行う場合の開発行為には許可が必要です。
・著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者などに対し、移転などの勧告が図られます。なお、移転する場合は融資や資金の確保などの支援措置があります。

今後の進め方とお願い

県が行う『基礎調査』は、平成16年度から本格的に実施しており、今後さらに危険性の高い所から優先して進めていきます。

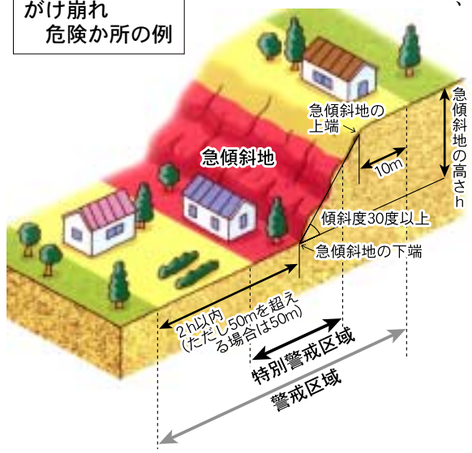
調査実施後、「警戒区域」については、直ちに指定の準備を進めます。「特別警戒区域」については、対象となる区域の皆さんに説明を行いながら指定の準備を進めていきます。

既に基礎調査を実施済みの所は、2月上旬から対象の区域に説明会を行っています。

今後も、次の点について皆さんのご理解とご協力をお願いします。

○基礎調査で行う踏査や簡易的な測量等の際に県担当者や委託業者が私有地に立ち入る必要がありますので立ち入りにご協力をお願いします。
○特別警戒区域については、基礎調査の結果に関する住民説明会を開催します。前もって連絡しますので出席をお願いします。
○区域の指定後、警戒避難体制が整備されます。これを基に適切な判断と行動をとるようお願いします。
○区域指定の有無にかかわらず、土砂災害から身を守るため、県や市などが提供する情報を積極的に入手し、日頃の備えと早めの避難を心がけてください。

がけ崩れ危険か所の例



※詳細は、新潟県土木部砂防課のホームページをご覧ください。
http://www.pref.niigata.jp/doboku/engawa/sosiki/honcho/sabou/

■問合せ　十日町地域振興局地域整備部計画調整課
☎７５７―５４０８

地域協議会委員を募集します

地域協議会は、市内の概ね中学校区の区域を目安に、行政と協働して地域の課題を解決していくために設置された行政の機関です。

平成17年に設置された地域協議会委員が、平成19年３月31日に任期満了となるため、４月１日からの新委員を公募します。募集人数、募集要領などはそれぞれの地域協議会で異なりますので、詳しくは最寄の地域協議会事務局に問い合わせてください。募集期間は平成19年２月13日㈫から３月９日㈮までとします。
（注：応募は住所地のある区域の地域協議会に限られます。）

なお、旧十日町市の区域に設置された地域協議会は、７地区に分割設置する検討を行っています。４月から分割設置がされた場合に、改めて公募を行います。

【募集内容及び申込み・問合せ】

地域協議会名	区　域	募集委員数	問　合　せ
川西地域協議会	川西地域	5　人	川西支所地域振興課　☎768-4951
中里地域協議会	中里地域	4　人	中里支所地域振興課　☎763-2511
松代地域協議会	松代地域	6　人	松代支所地域振興課　☎597-2220
松之山地域協議会	松之山地域	6　人	松之山支所地域振興課　☎596-3131

【会議の開催頻度】　概ね月に１回程度（地域によって異なります）
【委　員　報　酬】　会議開催回数に関わらず一人１年間１万円

税源移譲

税源移譲について皆さんからの質問にお答えします

問1　税源移譲で何が変わるの？
答　所得税と市・県民税の税率が変わります。これにより所得税と市・県民税の納める金額が変わります。

問2　「納める金額が変わる。」って、具体的にどういうこと？
答　ほとんどの人は、市・県民税が増額、所得税が減額となります。

問3　納める税金が増えるの？
答　所得税と市・県民税を合わせた税負担の合計額は変わりません。国と地方に納める割合が変わるだけです。

問4　所得税を給料から源泉徴収されている人はどうなるの？
答　19年１月以降に源泉徴収される分から所得税が減額となります。給与明細書などで確認してみましょう。

問5　所得税を年金から源泉徴収されている人はどうなるの？
答　19年２月以降に支給される年金より源泉徴収される分から所得税が減額となります。

問6　自営業など事業所得のある人はどうなるの？
答　20年３月の確定申告のときに納税する所得税が減額となります。給与などから源泉徴収をされている人と１年のずれがあります。

問7　市・県民税が増えるのはいつから？
答　19年６月分から増額となります。

市・県民税の申告の準備はお済みですか

２月16日㈮～３月15日㈭まで申告相談が行われます。この間大変混み合うことが予想されますので、事前に書類を準備してお出かけください。

営業・農業などの事業を営んでいる人は、収入や必要経費がわかる帳簿や領収書、それに基づいて作成した収支内訳書などが必要になります。

「市・県民税申告書」の用紙設置場所

市役所本庁税務課・本町分庁舎・各支所市民生活課・下条公民館・水沢公民館・吉田公民館

●問合せ　税務課市民税係
☎７５７―３１１１（内線１１７）

GUIDE

お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

GUIDE 催し 講座

ハローMaMaスクール

●**日時**＝3月1日㈭・16日㈮午後1時15分～3時30分●**会場**＝十日町保健センター●**対象**＝妊婦及びその家族●**申込み・問合せ**＝健康支援課母子保健係（内線122）

キナーレきもの歴史館 藍遊夢匠展

本藍絞り染め作家たちによる十日町創作絞り染めを展示します。●**会期**＝～3月11日㈰午前10時～午後6時※水曜日定休●**会場**＝キナーレきもの歴史館●**入館料**＝大人300円、中学生100円、小学生以下無料●**問合せ**＝キナーレ（☎752―0117）

GUIDE 募集

百人一首を楽しむ会

どなたでも参加できます。幼児や小・中・高校生大歓迎です。●**日時**＝2月24日㈯午後1時～午後4時30分（受付12時30分～）●**会場**＝クロス10●**参加費**＝500円（高校生以下無料）●**申込み**＝2月15日㈭までに市内各公民館・情報館・クロス10ほか※当日の申込みも可●**問合せ**＝百人一首を楽しむ会（北越保育園内☎757―3860）

十日町市家庭相談員募集

4月1日付け家庭相談員を募集します。●**募集人員**＝1人●**身分**＝市の非常勤特別職●**募集期間**＝2月13日㈫～3月5日㈪の土・日曜日を除く午前8時30分～午後5時15分●**任期**＝19年4月1日～20年3月31日（勤務成績良好の場合1年ごとの任期更新有り）●**受験資格**＝昭和19年4月2日以降に生まれた人で、人格円満で社会的人望があり、健康で家庭児童福祉の増進に熱意を持つ人で次のいずれかに該当する人①学校教育法または旧大学令に基づく大学において、児童福祉、社会福祉、児童学、心理学、教育学もしくは社会学を専修する学科またはこれらに相当する課程を修めて卒業した人②医師③社会福祉主事として2年以上児童福祉事業に勤務した人④そのほか①～③に準ずる人で家庭相談員として必要な学識経験を有する人●**勤務日**＝月曜日～金曜日までのうち3日間●**勤務内容**＝在宅の知的障害児、身体障害児などの保護を要する児童、情緒障害などで問題のある児童、そのほか問題児童及びそれらの家庭の相談及び指導など●**報酬**＝月額91、770円●**試験日時**＝3月10日㈯午前10時～●**試験方法**＝面接及び書類審査●**申込方法**＝申込書（申込先に配置）に資格要件を証明する書類の写しを添えて持参または郵送（必着）●**申込み・問合せ**＝〒948―8501十日町市千歳町3―3福祉課子育て支援係（内線135）

シルバー人材センター会員募集

●**応募資格**＝19年4月1日現在58～63歳の市内在住者で健康で働く意欲のある人●**業務内容**＝公共施設（十日町・松代地域）の管理業務（時間は施設により異なります）●**募集人数**＝10人程度●**申込み・問合せ**＝履歴書を2月20日㈫までに〒948―0081十日町市本町5丁目シルバー人材センターへ提出（当日消印有効）（☎757―5708）

GUIDE スポーツ

グレステンカップ中峰スキー場スラローム大会

●**日時**＝2月25日㈰午前8時受付開始●**会場**＝中峰スキー場●**参加費**＝小学生以上1、500円※下条地区の小・中学生は1、000円、幼児500円（リフト代含む、保険は各自で対応）●**申込み・問合せ**＝2月15日㈭～20日㈫の間に、十日町スキークラブ本部（ホンマ科学㈱内☎757―2493）※当日申込みは午前8時50分まで

桂スキー場スラローム大会

●**日時**＝3月11日㈰午前8時受付開始●**会場**＝中条桂スキー場●**参加費**＝無料●**申込み・問合せ**＝2月26日㈪～3月4日㈰の間に十日町スキークラブ本部（ホンマ科学㈱内☎757―2493）※当日申込みは午前8時50分まで

妻有の土で焼く 吉田明 七輪陶芸教室

´06芸術祭に参加し、妻有にほれこんだ日本を代表する陶芸家・吉田明氏が「うぶすなの家」でやきものワークショップを開催します。オリジナルぐい飲みを七輪で焼き、その日に持ち帰るという画期的なイベントです。

●**日　時**
1回目：2月24日㈯午前10時～午後4時
2回目：2月25日㈰午前10時～午後4時
●**会　場**　うぶすなの家（願入）
●**参加費**　3,000円（昼食付）
●**定　員**　各回先着20人
●**申込み締切り**　2月22日㈭
●**申込み・問合せ**　まつだい農舞台（☎595-6180）

十日町・川西・中里地域と松代・松之山地域間の☎には市外局番025が必要です

GUIDE 年金

人間ドック締切ります

今年度の人間ドックの受診申請は、2月20日㈫で締切ります。来年度の申請書は、市報3月10日号といっしょに配布します。●**問合せ**＝保険年金課国保係（内線164）

障害者控除のための認定書を交付します

65歳以上の要介護認定者で、障害者手帳などの受給者と同程度と認められた場合に、所得税や市・県民税の障害者控除が適用される場合があります。希望する人は申請をしてください。審査のうえ該当者には認定書を交付します。なお、申請の際には、印鑑を持参してください。※交付には1週間ほどかかります。●**申請・問合せ**＝福祉課高齢福祉係（内線145）又は各支所健康福祉課

GUIDE 年金

第3号被保険者のお知らせ

第3号被保険者（厚生・共済年金保険等に加入している人の被扶養配偶者）の届出が遅れた場合、その資格取得は2年前までしかさかのぼれませんでした。17年度からは社会保険事務所に「第3号被保険者の特例の届出」をすることにより、2年以上前の期間も第3号被保険者期間として取り扱い、将来その分の年金を受け取ることができるようになりました。●**問合せ**＝新潟社会保険事務局六日町事務所（☎025―770―2211）

国民年金「前納制度」

国民年金の前納制度を利用すると毎月納付する手間が省け、納め忘れの心配もなく保険料の割引もあります。口座振替による前納制度はさらにお得です。ぜひ利用してください。●**割引額**▼納付書＝1年前納：36、000円、6か月前納：6、690円▼口座振替＝早割り50円、6か月前納960円、1年前納3、550円●**口座振替の手続き**（前納の場合）＝金融機関や郵便局などで2月中旬までに「国民年金保険料口座振替納付（変更）申出書」に必要事項を記入●①持参するもの＝国民年金保険料口座振替納付案内書②預（貯）金通帳③通帳届出印●**問合せ**＝新潟社会保険事務局六日町事務所（☎025―770―2211）

GUIDE その他

倉俣診療所臨時休診のお知らせ

2月21日㈬の午後は休診します。午前の診療は通常とおり行います。※受付時間午前9時～11時30分●**問合せ**＝倉俣診療所（☎763―2147）

19年度学校体育施設開放事業利用申込み

市内小・中学校（指定校）の体育館や武道館などを主に夜の時間帯スポーツ活動のために開放します。●**申込み・問合せ**＝スポーツ振興課（☎752―4377）または各教育事務所へ

高病原性鳥インフルエンザのまん延防止にご協力ください

高病原性鳥インフルエンザは、鳥から鳥への感染だけでなく水や排泄物を介しても感染します。愛玩鶏などを飼育している人は、次の点に注意し監視強化をお願いします。①愛玩鶏などの健康状態を観察する。突然の死亡多発・顔やトサカや脚が腫れる・元気や食欲が無くなる・卵を産まなくなる・くしゃみや咳などの症状②飼育舎に野鳥や野鳥の糞を入れない。③野鳥の住む池の水を利用しない。④飼育舎内外の清掃と、清掃後の衣服や靴底の消毒、手洗い、うがいを励行する。⑤他の飼育舎にむやみに立ち入らない。なお、鶏卵、鶏肉を食べることにより人が鳥インフルエンザに感染した例はありません。愛玩鶏や野鳥の集団死亡など、異常があったら市農林課までお知らせください。●**問合せ**＝農林課農業振興係（内線248）または各支所農林課

寄付ありがとう

1月25日届出分まで（敬称略）

●**福祉施設へ**＝矢口邦治（昭和町4）
●**情報館へ**＝宮内昭一（新座2）須藤和也（仁田）戸邊秀治（黒倉）小野塚一（中央町）
●**博物館へ**＝中沢菊英（駅通り）佐藤公一(稲荷町2）上原敏子(四日町1）

おちこたね

▼現在、十日町市のホームページで市の積雪状況（トップページ右下の写真）を撮影したものを、ほぼ毎日更新しています。県外に住む市出身の人からの提言で始めたものですが、12月に始めた頃は、市役所2階から見える十日町市の景色が徐々に雪に埋もれていった後、3月を迎え、どんどん雪が消えてゆく、そんな記録写真をイメージしていました。しかし、実際は雪が融けていく写真ばかり。なかなか思い通りにはいかないものです。▼暖冬により、普段以上に人々の外出する機会が増えたため、交通事故が多発しています。確かに、夕刻でも多くの人が外出しているように感じられます。雪が少ない中ですが、車の運転はなるべく歩行者中心で速度を控えるよう心がけたいものです。（南）

▼先日、自転車に乗って近くのスーパーへ買い物に行ってきました。2月に自転車です！いつもなら除雪の手間や灯油代…etcに頭を悩ますこの時期。雪の少ない冬が、精神的にも肉体的にもこんなに楽なものかということを、改めて感じている今冬です。▼県広報コンクールで、市報とおかまち「だんだん」が2年連続の知事賞をいただきました。昨年9月25日号の特集「アートにかける夏」が評価されたものです。ときを同じくして、大地の芸術祭が「JTB交流文化賞」優秀賞」を受賞（P12参考）。ともに、市民の皆さんをはじめ、市報とおかまちのすべての関係者の支えがあったからこその受賞です。芸術祭が残してくれた財産をどう生かしていくか…これからが腕の見せどころです。（優）

■発行/十日町市役所　〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地
E-mail info@city.tokamachi.niigata.jp URL http://www.city.tokamachi.niigata.jp TEL.025-757-3111 FAX.752-4635
■編集/総務課広報広聴係

ジュニア芸術祭

20

川治小学校

風車のロケットでお出かけ

増田千笑美（ちえみ）さん（2年）

森の中からうちゅうにお出かけするところ。くまさんたちも楽しみにあつまってきたよ。友だちももうすぐきます。動物の目がむずかしかったけど、きれいにかけました。

大きいおいもがとれたよ

伊藤菜緒（なお）さん（1年）

学校の畑でさつまいもをほったの。いっしょうけんめい引っぱったら大きいのがとれたよ。はじめての絵の具だったけど、おいもの色をくふうしておいしそうにできました。

小さな小さな本屋さん

阿部真理（まり）さん（3年）

先着10人がキャンディーをもらえる、りそうの本屋さんを作りました。紙ねん土の本に色をぬるのがむずかしかったけど、うまくできました。みんな来てほしいな。

川で魚つかみどり

小林美樹（みき）さん（4年）

夏休みに家族で魚のつかみどりを体験しました。魚をとるのも岩のごつごつした感じを描くのもむずかしかったけど、どちらもうまくいってうれしかった。

ミニチュアダックスフントの掲示板

徳永実可子（みかこ）さん（5年）

大好きなミニチュアダックスフントがくわえる形の掲示板を作りました。耳の形などを切るのが難しかったけど、色塗りやニス塗りも含めてうまくできました。

火焔型裕式土器

高橋　裕（ゆたか）さん（6年）

川治の土を採取して細かく砕き、3日かけて形を作りました。野焼きや熊の肉の料理もうまくいきました。本物の火焔型土器はどうやって作ったんだろう？

市民の動き

■人　口　62,645人（−59）　男　30,689人（−42）　女　31,956人（−17）
■世帯数　19,931世帯（＋1）　1月末現在（　）は前月からの増減